

FURANO KYOKAI HOSPITAL



社会福祉法人 北海道社会事業協会 富良野病院



富良野協会病院

(略称)

安全で質の高い医療を提供する、
地域医療に貢献する病院として…

院長挨拶

北海道社会事業協会は、北海道の医療と福祉の充実を目的とし、昭和天皇が皇太子だった1921年に御来道の折、社会福祉振興のため御下賜された5,000円を基に発足しました。当院は1940年に開院し、以来「富良野協会病院」の略称で地域の皆様に親しまれています。1976年には富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村の一市三町一村で構成される富良野圏域の「地域センター病院」に指定されました。1993年には人工透析室を開設するなど発展を続け、2007年には施設が老朽化したため、地域の自治体、医師会など多くの皆様の協力を得て、富良野駅東側に移転新築、現在に至ります。

地域センター病院として、富良野圏域の住民の方々に安心して受診して頂けるよう良質の医療を提供し、また旭川の三次救急医療機関とも綿密な連携を行うことで高度な医療を提供できる体制も整えています。特に救急医療は医師会との連携を図り、2009年に救急医療提供体制の見直しを図りました。開業医と勤務医の協力することで救急医療の窓口を当院に一元化し、救急病院を探すのではなく、「急な病気やけがをした時は協会病院に行けばよい」という体制を構築し、現在も順調に運営されています。

富良野圏域の医療サービス向上のため「患者様から信頼される安全・安心な医療サービスを提供し、地域のニーズに応える病院を目指す」という当院の基本理念を忠実に実践し、地域の皆様から信頼され親しまれる病院となるよう、職員一同努力する所存です。

富良野協会病院 院長 小山内 裕昭



病院理念

私たちは、患者様から信頼される安全・安心な医療サービスを提供し、地域のニーズに応える病院を目指します。

基本方針

- 患者様の視点に立った良質な医療を提供します。
- 医療の安全と質の向上を目指して、日々研鑽に励みます。
- 地域センター病院として、地域との連携を密にし、医療・保健活動を推進します。
- 職員にとって働きがいのある明るい職場を創ります。

診療科

- 内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- 神経内科
- 小児科
- 外科
- 整形外科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼科
- 皮膚科
- 耳鼻咽喉科
- 心臓血管外科
- 麻酔科
- 総合内科
- リハビリテーション科

受付時間 午前の部／8:30～11:30 午後の部／12:30～15:00

※曜日により休診、または午後休診となる科があります。

※『外来受付時間ご案内』及び『診察予定表』又は

『ホームページ (<http://msknet.ne.jp/~furano-hospital>)』でご案内しています。



休診日 第2・第4土曜日、日曜日、祝祭日、お盆(8月15日)、富良野神社祭(8月25日)、年未年始(12月30日～1月3日) ※1月4日は、午前だけの診療とさせていただきます。

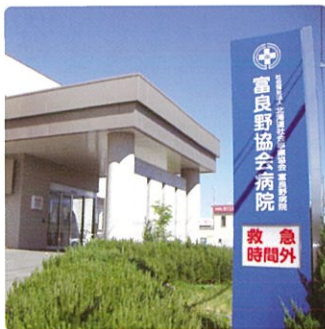
総合受付ロビー 総合案内

診療を受ける際の相談や院内のお困りの方のお手伝い等、来院された方がご安心して診療サービスが受けられるように、職員を配置しています



救急外来

富良野医師会に加入している医師の協力を得ながら、地域の1次救急、2次救急を24時間支えています。



看護専門外来

■ スキンケア外来

ストーマ・腎ろう・膀胱ろうをお持ちの方や、褥瘡(床ずれ)などのケアが必要な方を対象に、完全予約制で個室でゆっくりご相談いただける環境となっています。皮膚・排泄ケア認定看護師がスキンケアの方法と実践、日常生活でお困りのことや心配などについて、皆様からのご相談をお受けします。

■ フットケア外来

看護師又は保健師が対応しています。メディカルスタッフの協力を得て患者様の足を守っていきます。



フットケア外来

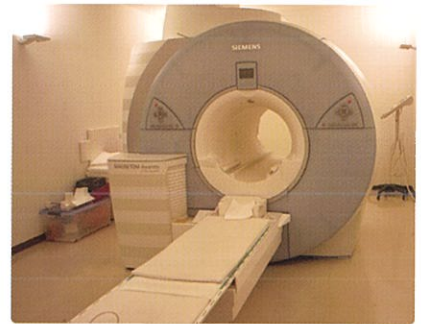


医療機器

高度医療を安心して受けられる病院として、医療機器類の整備は不可欠です。

近年、手技と機械の著しい進歩により、内視鏡治療なども行っております。

また、CT・MRI装置などの医療用診断装置も最新鋭の機器を整えております。



リハビリテーションセンター

リハビリテーションは病気やケガでいろいろな障がいを持った方々に対して、その障がいを可能な限り回復させ、残された能力を最大限に高めて、身体的・精神的・社会的に生きがいのある生活を送れるように援助します。

当院は富良野市のみならず近隣地域の中核病院として、急性期医療から在宅医療まで幅広く対応しています。また地域活動にも積極的に取り組んでいます。「患者様が安心した生活を送れるよう、最適なリハビリテーションを提供する」ことを基本方針に、患者さまに関わる全ての医療スタッフと連携し、快適な日常生活復帰に向け、質の高いリハビリテーションの提供を行っています。



◀小児リハビリテーション

薬剤科

入院患者様を中心にお薬の説明や効果・副作用のチェック、医薬品の供給、管理、医師、看護師やその他医療スタッフにお薬についての情報を通じて、患者様が安心して治療を受けられるように心がけています。

当院では抗がん剤を中心に安全キャビネットにて無菌調整を行い、血流感染、看護師の抗がん剤への暴露などのリスク軽減に努めています。

また、抗がん剤そのものだけでなく、前投薬の注射もクリーンベンチで無菌調整を行い、抗がん剤の投与スケジュール管理も行っています。



無菌製剤調整



調剤業務

化学療法室

リクライニング機能付きベットや専用テレビを備え、長時間の治療を快適な環境で受けていただけるよう配慮しています。また専任の看護師を配置し常に安全で安心した医療を提供することを心掛けています。

化学療法室は、外来治療の場だけではなくこれから外来で化学療法を行うため退院前にオリエンテーションを行ったり、治療中の不安や相談の場としても活用されています。



手術室

手術室スタッフ、中央材料室で構成されており、「動き易い手術室」をモットーに働いています。

外科・泌尿器科・整形外科・産婦人科・眼科・循環器内科の手術を多数行っており、長時間に渡る手術や珍しい症例にも各スタッフが精力的に取り組んでいます。術前・術後訪問の充実、各病棟・他部署との連携に更なる充実を目指して日々邁進しています！



産科病棟

当院の産科病棟は平成13年度から周産期母子医療センターに指定され、地域の皆様に安全で安心できる周産期医療を提供できるよう、日々努力しています。スタッフ全員の24時間対応、外来では妊産婦の保健指導や育児相談、母乳相談など家庭での生活を支援できるように地域との連携も行います。

育児参加の夫も多く、夫立会い分娩や、沐浴指導、など入院生活が家族と共に迎えるように工夫されています。退院前夜はお祝い膳もあり、家族と一緒にの御食事もお楽しみの一つです。



お祝膳▶

小児科病棟

小児病棟は、子供さん達の恐怖心が少しでも和らぐよう、保育士が勤務しており、病棟・病室の壁紙なども工夫しています。



人工透析センター

- ① 透析ベッド数25床で、血液透析(午前・午後)を常時実施しています。
CAPD(腹膜透析)も施行しています。
- ② 急性血液浄化療法としては、血液濾過透析の他、エンドトキシン吸着療法(PMX)、血漿交換、ビリルビン吸着療法、慢性関節リウマチに対する白血球除去療法(LCAP)、各種薬物中毒に対する血液洗浄法など、ICU並みの診療体制を整えています。
- ③ また、病棟での出張透析や道内外からこられる旅行透析の患者様にも対応しています。



地域連携室

富良野圏域の地域センター病院として、他の病院・診療所と連携し、患者様の病状に応じた適切な医療を提供するため、電話やFAXでの紹介患者の受診予約や他医療機関への逆紹介、高度な医療機器の共同利用の予約を行っています。また、協会病院の担当医(主治医)と、かかりつけ医(副主治医)が共同して患者様の診療にあたる開放型病床の運営も行っています。



24時間保育

当院職員(医師・看護師)の子どもたちを(産後100日～就学前)24時間体制で支援しており、安心して働ける環境作りを行っています。家庭的な雰囲気、保育に従事しています。



病院沿革



- 昭和15年 財団法人北海道社会事業協会附属富良野病院開設
- 27年 社会福祉法人北海道社会事業協会富良野病院と改称
- 32年 町有隔離伝染病棟の診療を行う
- 39年 総合病院認可
- 43年 病院増改築第2期工事完成、院内に看護学校設置(富良野市立特殊学級小・中学校)
- 48年 特殊学級に対し療養機関として認可
- 51年 道、地域センター病院の指定を受け、検査、リハビリテーション部門増築
- 56年 結核病床(47床)廃止(病床総数214床)
- 57年 一般病床(44床)増床(病床総数258床)
- 平成 3年 一般病床(60床)増床(病床総数315床)
病院増改築工事完成
- 4年 人工透析開始
- 9年 災害拠点病院の指定
- 10年 一般病床40床を療養型病床群に変更
- 11年 伝染病予防法の廃止により伝染病症(8床)を廃止(病床総数307床)
感染症にかかる法律制定により第二種感染症指定医療機関の指定(4床)
- 12年 訪問看護ステーション「なごみ」を開設
富良野協会病院指定居宅介護支援事業所設置
療養型病床17床を介護保険適用病床とする
- 13年 地域周産期母子医療センターの認可
- 15年 へき地医療拠点病院の指定
- 17年 移転新築工事着工
- 19年 移転新築、病床総数264床(一般 220床、医療型療養 23床、介護型療養 17床、感染 4床)
基幹型臨床研修病院の指定
- 20年 療養型病床17床介護保険適用病床を廃止
病床総数255床(一般 195床、医療型療養 56床、感染 4床)
- 21年 富良野協会病院指定居宅介護支援事業所を廃止
- 22年 総合内科医養成研修センターの指定
- 23年 D P C対象病院に参加
- 24年 訪問看護ステーション「なごみ」を廃止
- 28年 地域包括ケア病棟開設

院内のご案内

8F

- 陽だまり病棟(療養型病棟)
- 特別浴室
- 家族控室

7F

- 第7病棟(内科・循環器内科・消化器内科)
- 家族控室

6F

- 第6病棟(地域包括ケア・眼科)
- 家族控室

5F

- 第5病棟(小児科・外科・消化器内科)
- 家族控室

4F

- 第4病棟(整形外科・産婦人科・泌尿器科)
- 家族控室

3F

- 手術室
- リハビリテーション科
- SPD室
- ME室
- 大会議室
- 図書コーナー
- 院内学級

2F

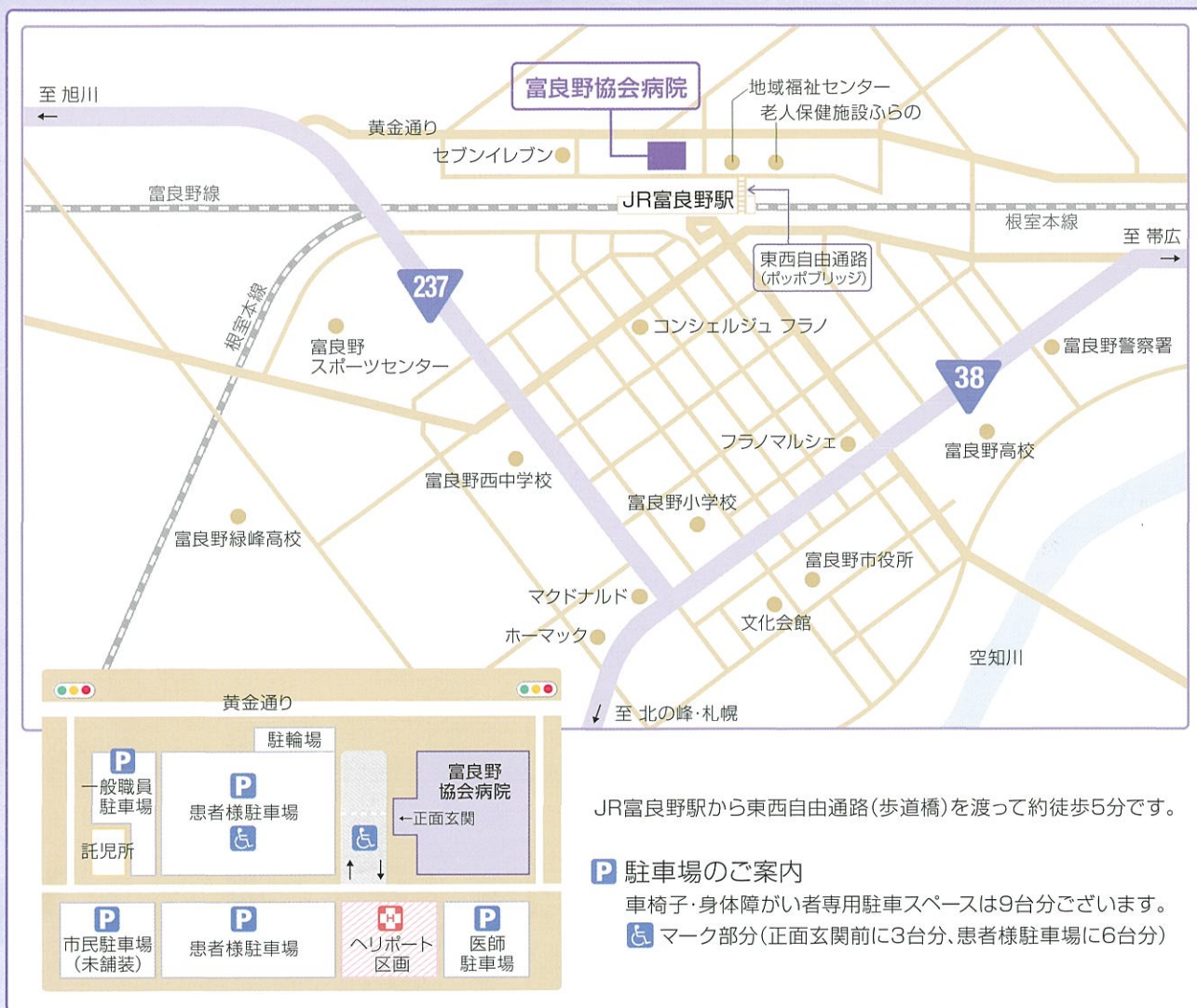
- 外来診察室(産婦人科・耳鼻咽喉科・眼科・皮膚科・泌尿器科)
- 人工透析センター
- 尿路結石治療センター
- 健診センター
- 臨床検査科
- 薬剤科
- 給食室
- 管理部門
- 会議室
- 外来食堂
- 化学療法室

1F

- 医事課(外来受付・会計、入退院受付・会計)
- 外来診察室(内科・循環器内科・消化器内科・小児科・外科・整形外科)
- 内視鏡センター
- 中央処置室
- 化学療法室
- 救急外来
- 放射線科
- 相談センター
- 売店(ローソン)



ACCESS



社会福祉法人 北海道社会事業協会 富良野病院

富良野協会病院 (略称)

〒076-8765 北海道富良野市住吉町1番30号 TEL.0167-23-2181 (代表) FAX.0167-22-4256

<http://www.msknet.ne.jp/~furano-hospital/>

休診日/日曜・祝祭日、第2・第4土曜日、お盆(8月15日)、富良野神社祭(8月25日)、年末年始(12月30日~1月3日、1月4日の午後)